## これからの防災への備え 「ますます重要になる女性の組織」

福井県婦人防火クラブ連絡協議会会長 小川 英子

「備えあれば憂いなし」といいますが、福井県では、平成16年7月18日に、200年に1回といわれる大豪雨に見舞われました。その時、災害に対する準備や心構えがどれほど大切かを身をもって知るとともに、婦人防火クラブの重要性を痛感いたしました。県内外の婦人防火クラブと日本防火協会の応援をいただき、美山町(前福井市)へ炊出しや全身泥まみれになって泥よけ作業などの支援活動をしてまいりました。真夏のため悪臭がひどく、炊出しには大変困りました。特に食中毒や



感染病に最大限気遣っての炊出し作業で、組織的な女性活動の重要性を認識しました。また、避難所生活の中ではトイレが不足し、また女性の生理用品の始末場所がなく、女性の視点で被災者を支えるという意識の重要性を感じました。

これからは、子供を災害から守る環境も求められるでしょう。例えば、AED(自動体外式除細動器)の使用について知っておくことが大切です。AED「成人用」は設置されていますが、八歳未満児「小児用」の設置も必要ではないかと思います。災害に対しては「自助」「共助」「公助」という言葉があります。この言葉からも、県を担う婦人防火クラブの災害に対する役割はますます重要になるでしょう。

これからも、これまでの活動を柱として、「災害は忘れたころにやって来る」という言葉を忘れず、新しい会員を増やし、地域の安全と安心のため活動していきたいと思います。

(消防庁機関紙「消防防災/2006-18・秋季号」より転

載)

本 このページの上に戻る

目次

- 1. 放火火災防止対策に係る調査検討会について
- 2.住宅用火災警報器普及啓発に向けて
- 3.自主防災組織リーダー研修会(徳島県)
- 4.愛知県婦人消防クラブ連絡協議会・福井県婦人防火クラブ連絡協議会合同研修会
- 5.婦人・女性防火クラブ交流研修会 in AKIYAMA-GO
- 6. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより
- 7.第20回全国消防操法大会関連事業激励交流会の開催
- 8.地方からの便り
- 9.あなたも危険物取扱者・消防設備士
- 10.日本防火協会からのお知らせ